

miratap

キッチン収納

キッチンドレッサー

取扱説明書（保証書付） 01-KDC01T-07

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。



電源コンセントの表示容量（ワット）を超える電気製品を使用しないでください。
発熱により火災の原因になることがあります。



トール家電収納以外のキャビネット内部では、オーブントースターなどの電気製品を使用しないでください。
商品の故障や火災の原因になることがあります。



組込まれる電気製品・その他機器については、各取扱説明書および本体の表示事項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



注意

「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容



設置機器のアースは確実に取付けてください。
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤・ヌメリ取り剤は、使ったり近づけたりしないでください。
水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。



扉や引出しにぶら下がったり、大きく開けすぎたりしないでください。
破損やケガをするおそれがあります。



扉の開閉時、丁番にさわらないでください。
ケガをするおそれがあります。特に小さなお子さまには注意してください。



扉が傾いたりガタついたときは、丁番のネジを締めなおしてください。
破損やケガをするおそれがあります。



扉などに水がかかったり、電気製品の蒸気により結露したときは、すみやかに拭き取ってください。
長時間濡れたまま放置すると、ふくれやはがれの原因になることがあります。



扉・引出しの開閉時、手足をぶつけないよう注意してください。
ケガをするおそれがあります。



棚板や引出しに規定重量以上の物を入れないでください。
商品の歪み・破損・落下の原因になることがあります。



上置きの開き扉を開けたまま扉の下に入らないでください。
思わぬケガをするおそれがあります。



引出しには乗らないでください。
落下し、ケガをするおそれがあります。



引出しは一段ずつ開閉し、すべての引出しを引出した状態にしないでください。



引出しや開き扉の開閉・収納時に指などを挟まないよう注意してください。
特にお子様にはご注意ください。



引出しは中央付近を持って開閉してください。



プッシュラッチタイプの場合は、扉の真ん中付近を押して開閉してください。
押す場所によってはプッシュラッチが作動しないことがあります。



キャビネット・ワークトップに頭をぶつけないよう注意してください。
ケガをするおそれがあります。



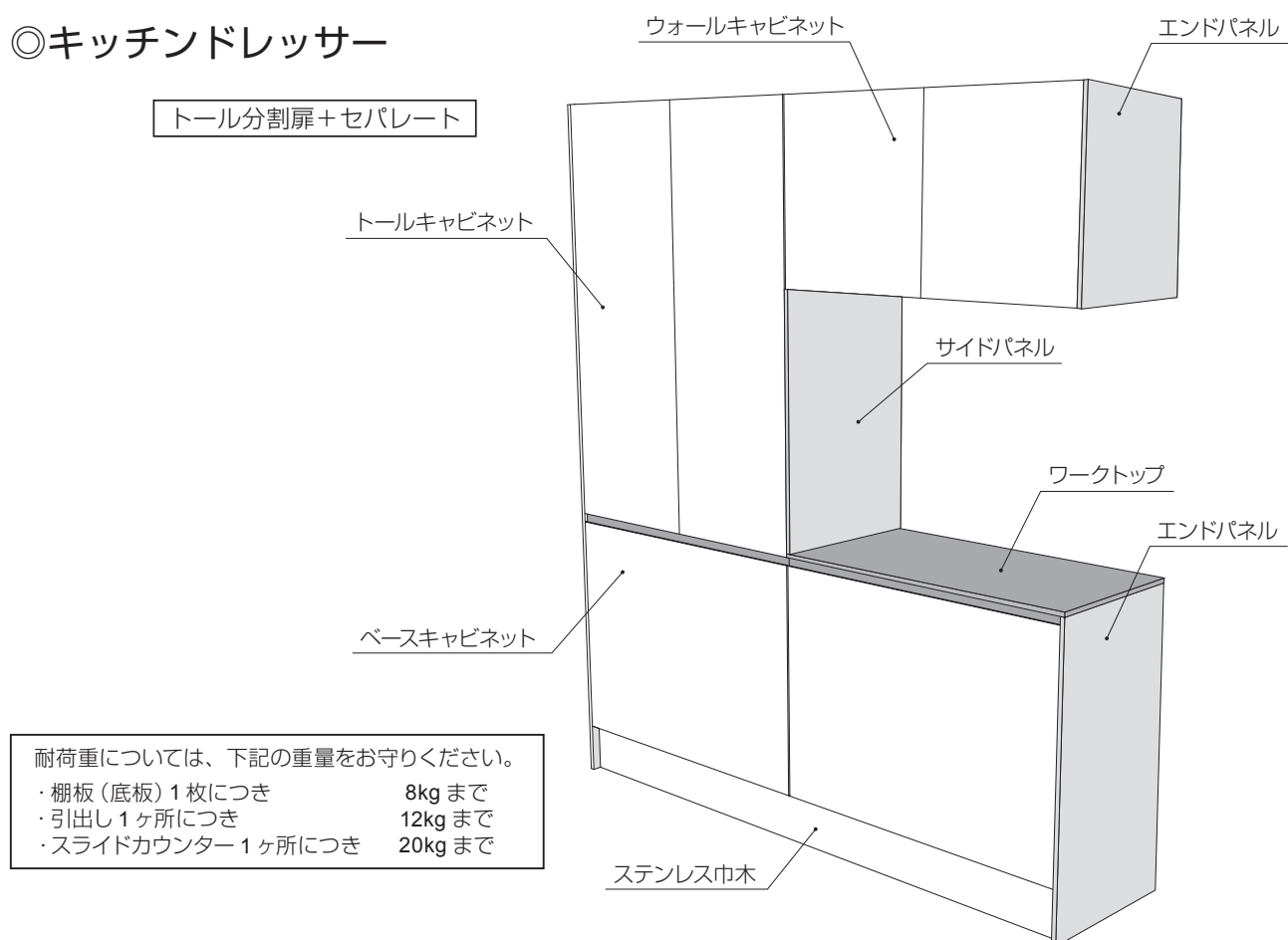
棚受け（ダボ）は確実に奥まで差し込んでください。
落下し、ケガをするおそれがあります。



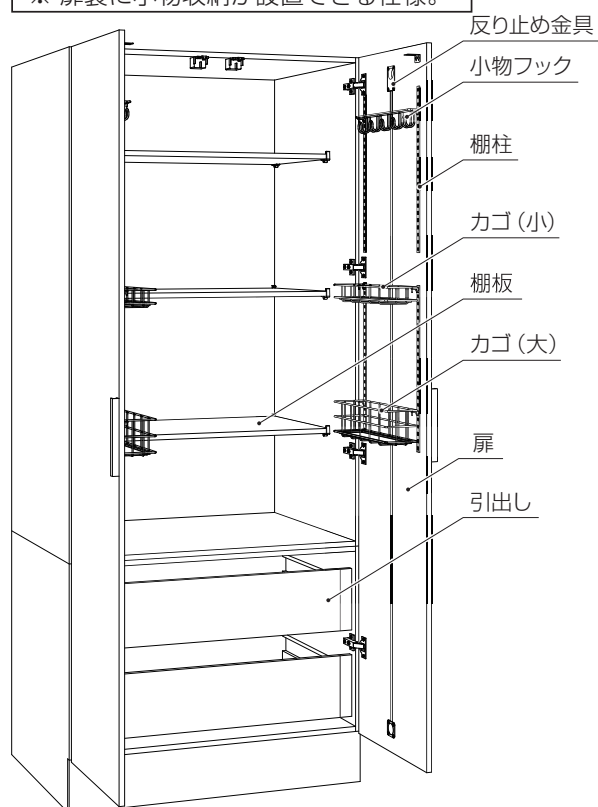
トール家電収納で電気製品を使用する際は、必ずスライドカウンターを引き出して使用してください。
引き出さずに使用すると、熱・蒸気によるふくれやはがれの原因になることがあります。

1 各部の名称

◎キッチンドレッサー



トール 1 枚扉
※ 扉裏に小物収納が設置できる仕様。



2 お手入れ方法

■ワークトップのお手入れ

《通常のお手入れ》

水を含んだ布またはスポンジで水拭きしたあと、乾いた布でから拭きしてください。

※ 水あかの原因になるため、水滴は残さないようにしてください。

※ 湿気や汚れを付着したまま放置すると、サビが発生するおそれがあります。

《汚れているとき》

① 布またはスポンジに台所用中性洗剤を付けて、汚れを落としてください。

② 水を含んだ布で洗剤を拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。

※ ひどい汚れや落ちにくい汚れは、台所用液体クレンザーを付けて磨いてください。その際、強くこするとキズがつくおそれがあります。



- 熱したフライパン・鍋・火のついたタバコなど熱いものを、ワークトップに直接置かないでください。(変色・変形の原因になります)
- 鍋・陶磁器など硬く重いものを、ワークトップに落としたり引きずったりしないでください。(キズ・割れ・へこみがつくおそれがあります)
- 包丁やナイフなどの刃物を、直接ワークトップ上で使用しないでください。(キズがつくおそれがあります)
- ぬれたままの包丁・缶詰などの金属製品を長時間のせたままにしないでください。(サビがうつる『もらいサビ』がでるおそれがあります)
- 金属たわしや粒子の粗い粉末クレンザーなどを使用しないでください。(キズがつくおそれがあります)
- 酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤や漂白剤、ヌメリ取り剤は使用しないでください。(ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化の原因になります)
- お手入れに使用する洗剤・薬剤は容器などに記載されている注意事項・禁止事項を必ずお読みください。



- 油・煮こぼれ・調味料の汚れは、すぐに水拭きしてください。(サビ・変色の原因になります)
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤・塗料・マニキュアの除光液・インク・毛染剤・うがい薬(ヨード系)などが付着したときは、すぐに拭き取ってください。(ワークトップをいためる原因になります)

■キャビネット・扉のお手入れ

《通常のお手入れ》

乾いた布でから拭きしてください。

《汚れているとき》

① 布またはスポンジに薄めた台所用中性洗剤をつけて、汚れを落としてください。

② 水を含んだ布で洗剤を拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。

③ 隅にたまったゴミはブラシで取り除いてください。

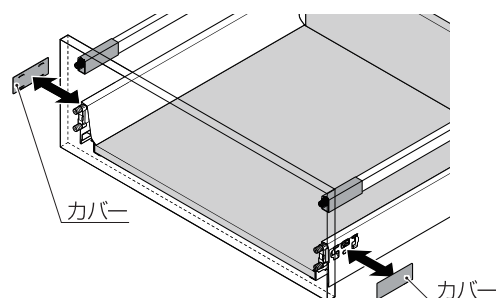


- キャビネットや扉に付着した油汚れなどを取除くときは、強くこすらないでください。
(キズや光沢変化の原因になります)
- 油・調味料・食品の汚れを放置しないでください。
(サビやカビの原因になります)
- キャビネットや扉が水で濡れたときは、すみやかに拭き取ってください。
(ふくれやはがれの原因になります)
- お手入れに使用する洗剤・薬剤は容器などに記載されている注意事項・禁止事項を必ずお読みください。

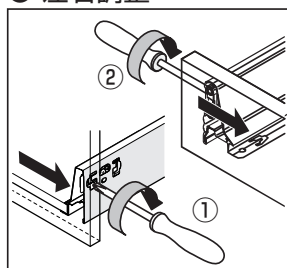
3 各部の調整と使い方

《サイレントレール引出しの調整》

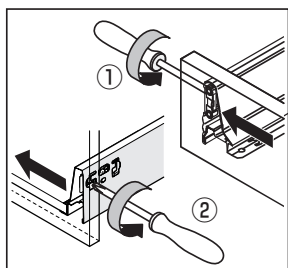
- 左右調整をする場合は、引出し裏にある引出し前板と底板とを連結しているネジを緩めてから調整してください。
※ 調整後はネジを必ず締め付けてください。
- 左右調整、上下調整の作業前にはレール横のカバーを外し、作業後にはカバーを取付けてください。



● 左右調整

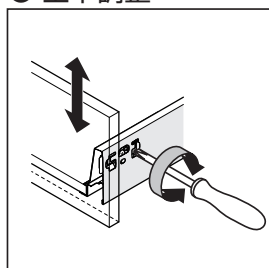


右へ 1mm



左へ 1mm

● 上下調整

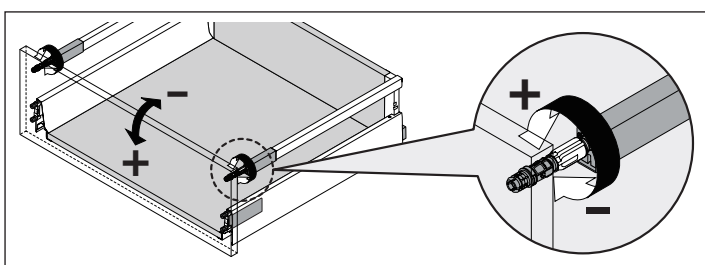


上下調整 ±2mm

調整ネジ位置

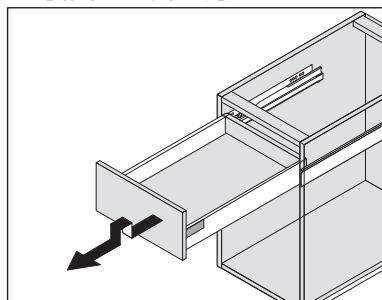


● 前板の傾き調整



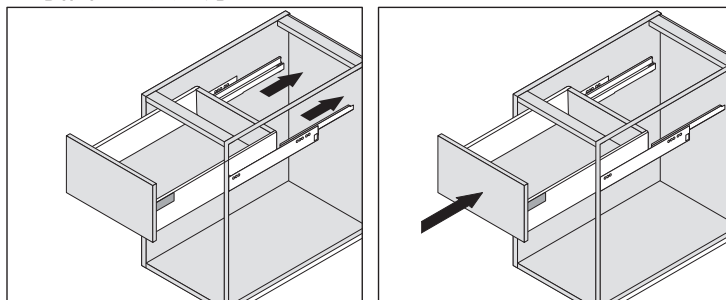
《サイレントレール引出しの外し方・入れ方》

● 引出しの外し方



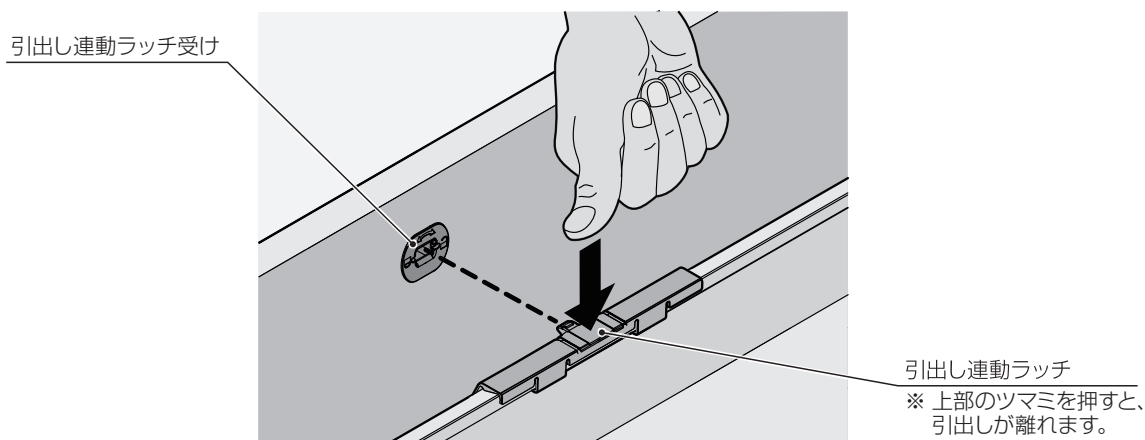
引出しを全開にし、少し上に持ち上げながら引いてください。

● 引出しの入れ方



カチャ” という音で引出が正しく入ったかどうか確認できます。

《サイレントレール引出し連動ラッチの使用方法》



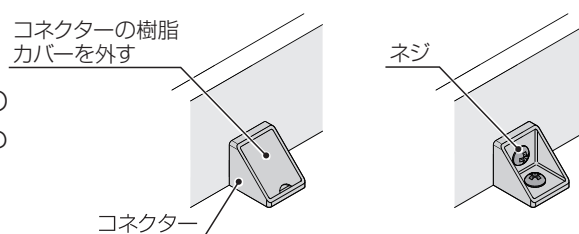
《スタンダードレール引出しの調整》

左右調整をする場合は、引出し裏側の前板と底板を連結している L 型金具のネジを緩めてから調整してください。

※ 調整後は必ずネジを締めつけてください。

浅型の内引出しの場合は、引出し内側にあるコネクタの樹脂カバーを外し、前板と底板を連結しているネジを緩めてから調整してください。

※ 調整後は必ずネジを締めつけてください。



微調整が必要な場合は、右図を参考にネジをまわして調整してください。

① 高さ調整 (± 1.5mm)

ネジ①を緩めて偏芯ネジ②で高さ調整します。

調整後はネジ①を締めつけて固定します。

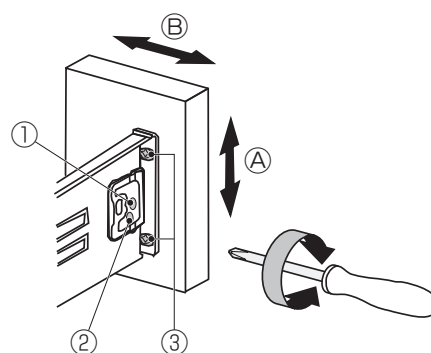
② 左右調整 (± 1.5mm)

※ 左右調整をする場合は、引出し裏側の前板と底板を連結している L 型金具のネジを緩めてから調整してください。

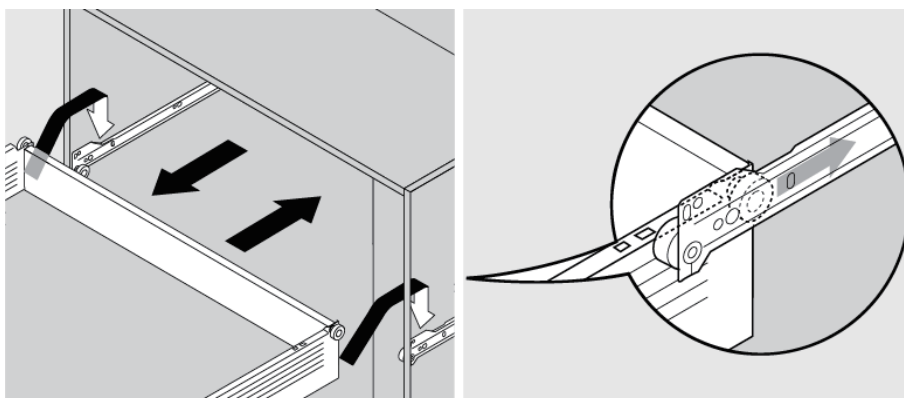
※ 調整後は必ずネジを締めつけてください。

ネジ③を緩めて前板を左右調整します。

調整後はネジ③を締めつけて固定します。



《スタンダードレール引出しの外し方・入れ方》



● 引出しの外し方

引出しを全開にし、少し上に持ち上げながら引いてください。

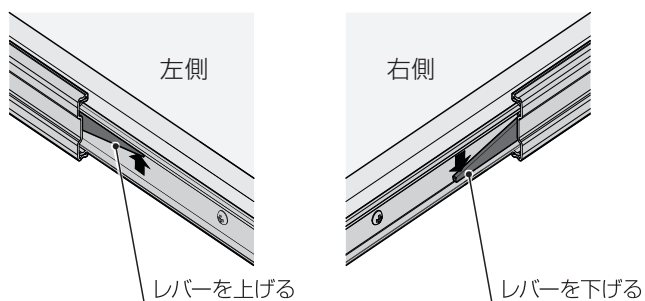
● 引出しの入れ方

引出しを少し上に持ち上げながらレールに入れてください。

《スライドカウンターの調整》

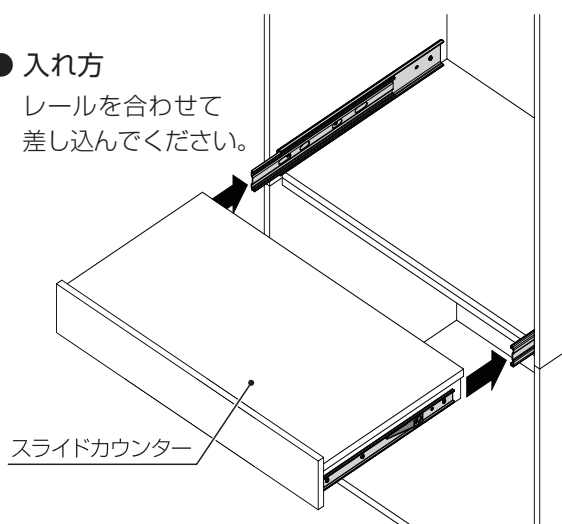
● 外し方

レールの左右にある黒色レバーを、右側は下げ、左側は上げながらスライドカウンターを引き抜いてください。



● 入れ方

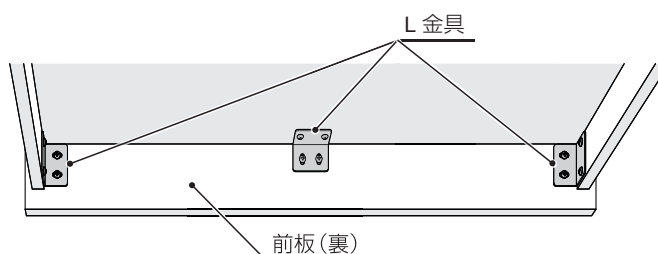
レールを合わせて差し込んでください。



● 前板の調整

前板調整が必要な場合はスライドカウンター裏側 L 金具の、前板側のネジを緩めてから調整してください。

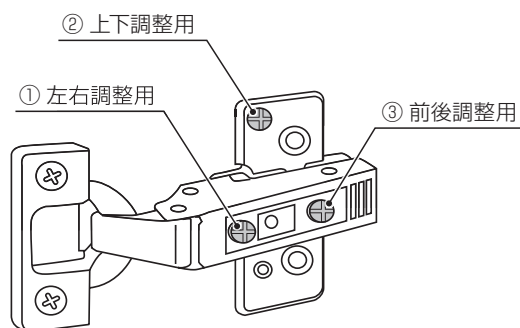
※ 調整後は必ずネジを締め付けてください。



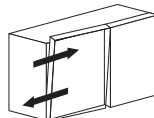
《扉丁番の調整》

微調整が必要な場合は、丁番のネジ①②③をまわして調整してください。

● トール 1 枚扉以外

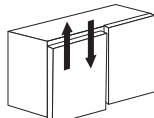


○ 左右調整（扉の目地をそろえる）



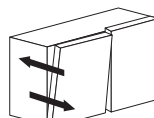
① のネジを右にまわすと外方向に、左にまわすと内方向に動きます。

○ 上下調整（扉の上下の片寄りを直す）



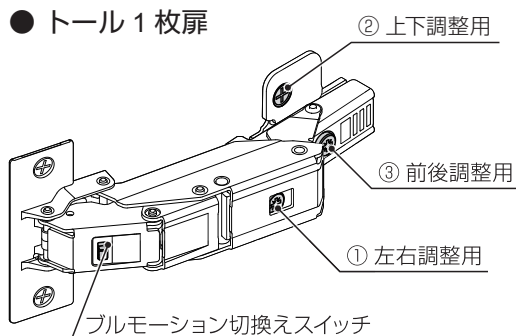
② のネジをまわして、扉の上下調整をしてください。

○ 前後調整（扉の前後の傾きを直す）



③ のネジをまわして、扉の前後調整をしてください。

● トール 1 枚扉



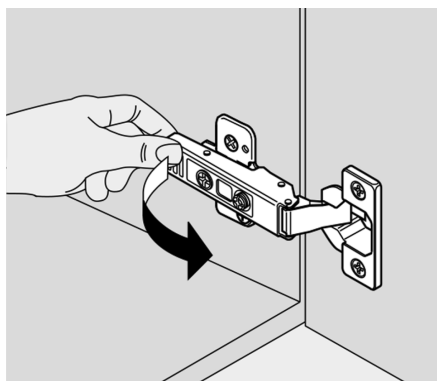
※ 最上部と最下部丁番はプルモーション（ゆっくり閉まる）ON / OFF を変更できます。（1: ON、0: OFF）
・ 初期時は 1: ON になっています。
・ 扉の開閉が重い・軽すぎるなどがあれば調整可能です。



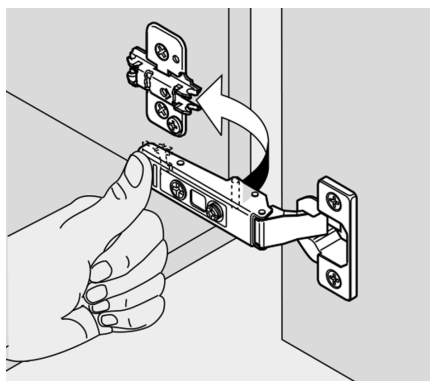
① ② ③ 以外のネジは、さわらないでください。

《丁番の取外し・取付け方法》

● 取外し方



● 取付け方



扉を取外す必要がないときは、さわらないでください。

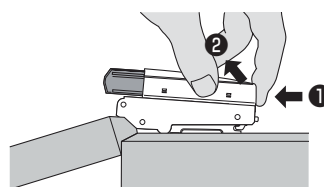
《クリップ式ブルモーションの取外し・取付け方法》

※ 対象商品は 扉色：ホワイト以外の開き扉（ツール 1 枚扉 除外）

● 取外し方

ブルモーション先端部を上を持ち上げながら手前に引いてください。

※ 必ず作業用手袋を着用してください。

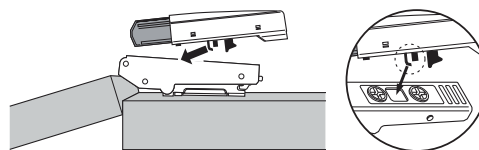


● 取付け方

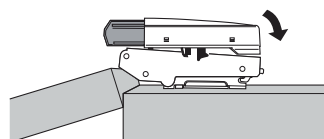
① 茶色の爪を丁番の角穴に入れ、ブルモーション前方を固定し後方を押し込んでください。

※ 無理に押し込むと茶色の爪が変形して丁番に取付けられなくなったり、簡単に外れたりするようになります。絶対に爪を曲げないよう取付けてください。

② 「カチャ」という音を確認して下さい。



ブルモーション下部の爪を 丁番の長方形の穴に当て、手前側（扉側）に少し押ししてください。



上から少し押すと取付完了です。簡単に外れたりしないことを確認してください。

《棚板の取外し・取付け方法》

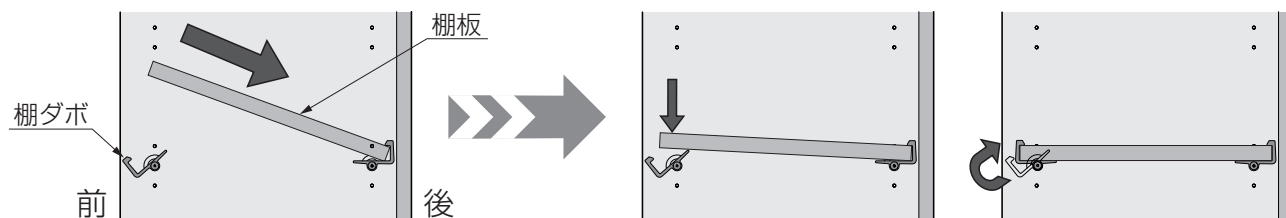
● 取外し方

- ① 棚ダボの爪を手前に倒し、棚板を持ち上げてください。
- ② 棚板を斜め上前方に引き抜いてください。



● 取付け方

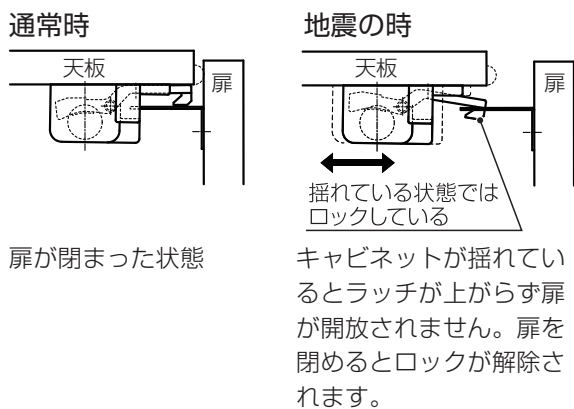
- ① あらかじめダボ穴に棚ダボを取付けておき、奥側の棚ダボに棚板を入れてください。
- ② 上側から棚板をはめ込んでください。



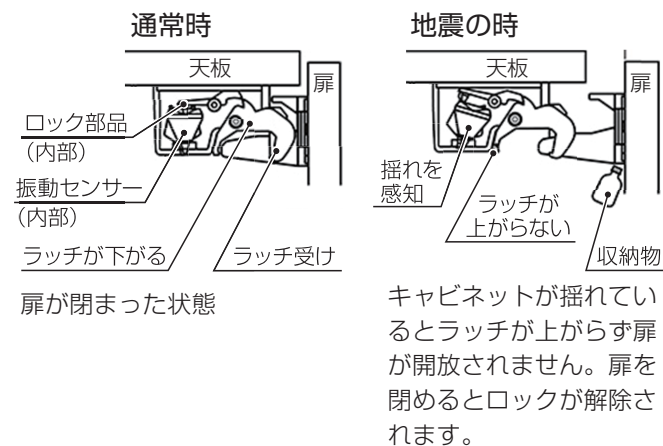
《耐震ラッチ》

揺れを感知すると耐震ラッチが作動し、扉が内側からロックされ被害を最小限に食い止めます。

● トール 1 枚扉



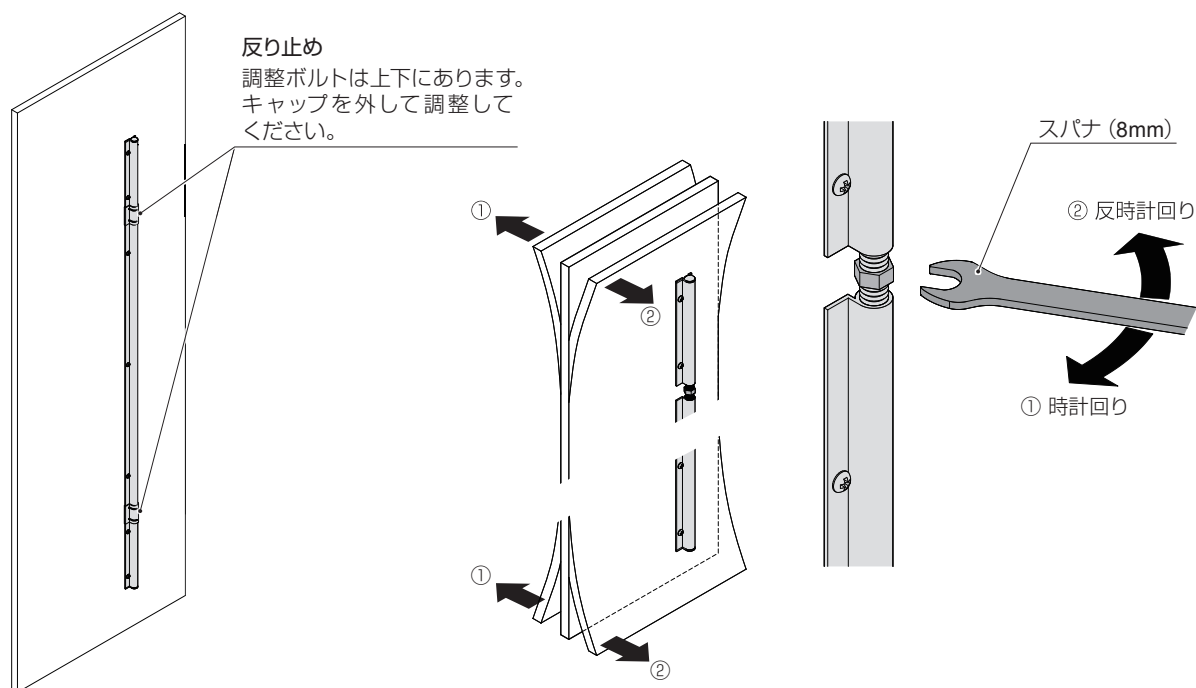
● トール 1 枚扉以外のウォール・ミドルキャビネットの開き扉部



《扉の反り調整》

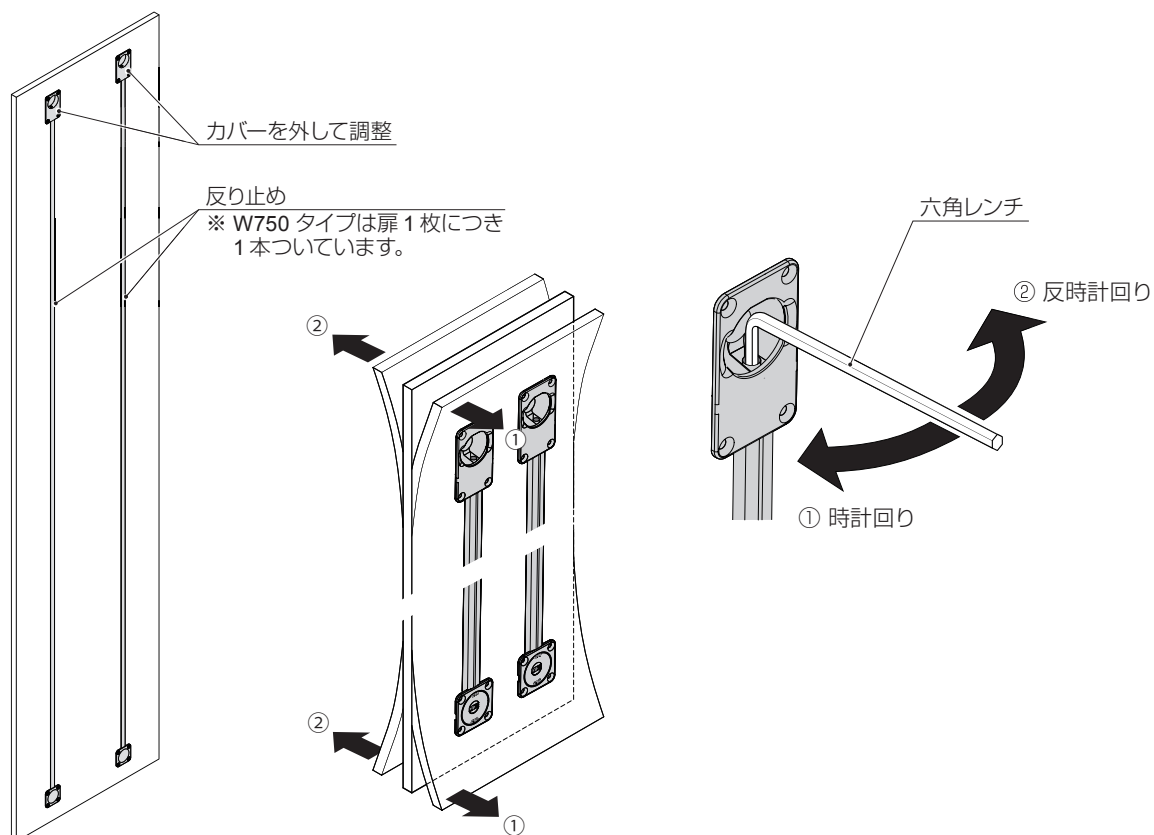
● トール分割扉ミドルキャビネット

- 扉が反っている場合は、同梱のスパナ（8mm）を使用し、扉裏についている反り止めのボルトにて調整してください。



● トール 1 枚扉

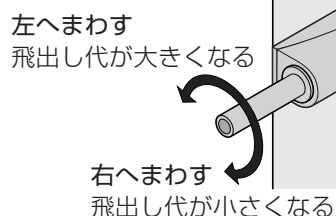
- 扉が反っている場合は、同梱の六角レンチ（呼び 4）を使用し、扉裏についている反り止め上部の金具にて調整してください。



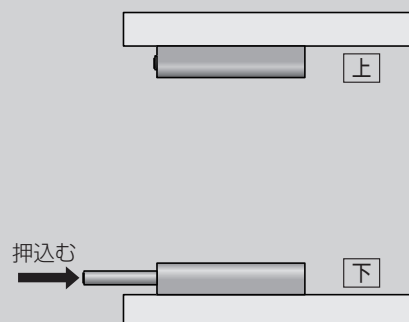
《プッシュラッチの調整》

微調整が必要な場合は、プッシュラッチの先端部を引き出した状態で左右にまわして、飛出し代を調整してください。

- 左へまわす：飛出し代が大きくなる（+ 3mm）
- 右へまわす：飛出し代が小さくなる（- 2.5mm）



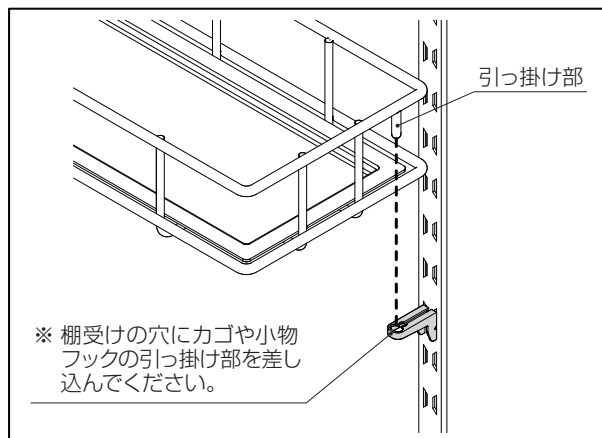
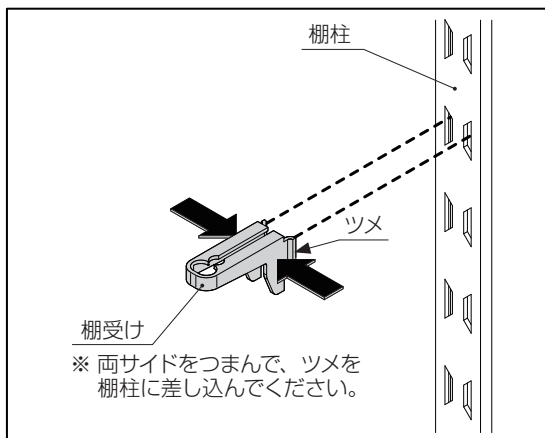
プッシュラッチがキャビネットの上下についているタイプは、扉開閉時に上下のプッシュラッチが出ているものと出ていないものとで互い違いになり、閉まりきらない場合がありますが、どちらか出ている方のプッシュラッチを押して揃えることにより元の状態へ戻すことができます。



《トール 1 枚扉／扉裏収納の取付け・取外し方法》

● 取付け方

- 棚受けの位置を自由に変えることができます。
 - ※ 丁番等の干渉に注意してください。
 - ※ 棚柱に棚受けを扉 1 枚あたり 6 個取付けてください。(収納アイテム 1 個につき棚受けが 2 個必要です)
 - ※ 収納アイテムの小物フック、カゴ（大）、カゴ（小）を扉 1 枚当たり各 1 個取付けてください。



● 取外し方

- 取付け方と逆の手順を行ってください。



- 耐荷重については、下記の重量をお守りください。
 - ・小物フック 2kg まで
 - ・カゴ（小） 1kg まで
 - ・カゴ（大） 3kg まで
- 扉 1 枚あたり小物フック×1、カゴ（小）×1、カゴ（大）×1の使用としてください。それ以上の個数を使用すると商品の歪み・破損・落下の原因となります。

4 アフターサービス

保証書

品 名	キッチンドレッサー			お客様	お名前
保証期間	お買い上げ日から 3 年				ご住所
お買い上げ日	年	月	日		
工事店	店 名	電 話			

1. 正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無償にて修理または部品を送付いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合は有償扱いとなります。
 - ア) 使用上の誤りおよび不当な修理や設置による故障および損傷
 - イ) 正しい使用方法をお守りいただけなかった場合の故障および損傷
 - ウ) 弊社以外の組立設置における、組立設置時の不注意または過失による故障および損傷
 - エ) 弊社以外の組立設置において、組立設置資料どおりに取付けを行わなかった場合や、分解・改造などに起因する不具合
 - オ) 設置床面の凹凸に起因する不良や、それに伴うメンテナンス作業（扉の丁番調整など）
 - カ) 本来の目的以外の用途や一般家庭以外（例：車両・船舶への搭載、業務用など）に使用した場合の故障
 - キ) お買い上げ後の取付場所の移動による故障および損傷
 - ク) 天災地変など不可抗力による故障および損傷
 - ケ) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）および外部ノイズなどに起因する不具合
 - コ) 消耗部品（照明の管球・グローランプ・パッキン・カートリッジなど）の劣化に伴う故障および損傷
 - サ) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など商品本体以外の不具合に起因する商品の不具合および表面仕上げの色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - シ) 砂やゴミ、給水・給湯配管のサビなど、異物流入および水あかの固着に起因する不具合
 - ス) 海岸付近や温泉地など、地域における腐食性の空気環境・公害に起因する不具合
 - セ) 温泉水や井戸水など、水道法に定められた飲料水の元素基準に適合しない水を供給したことに起因する不具合
 - ソ) 汚れやメッキ部品のサビ・カビなど、通常のお手入れ不足による不具合
 - タ) ねずみ・昆虫など動物の行為に起因する不具合
 - チ) 凍結による故障および損傷
 - ツ) 材料の性質上生じるもの（木・石など自然素材を使用したもの、または自然の風合いを狙った商品の微妙な色目や表面状態のばらつきなど）
 - テ) タバコの火、商品を傷める薬品（有機溶剤・塩素系洗剤・強酸・強アルカリなど）の使用により発生した損傷
 - ト) 硫黄やアルカリ分を含む入浴剤による損傷
 - ナ) 建物完成後、入居までの間に管理などの不備により生じたもの
 - ニ) 仕上げキズなどで引き渡し時にお申し出がなかったもの
 - ヌ) 保証書の提示が無い場合
 - ネ) 保証書にご購入者様情報やお買い上げ年月日など必要事項の記入の無い場合、あるいは字句が書き替えられた場合
 - ノ) 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

廃棄処分について

廃棄の処分の際は、必ず専門業者に依頼してください。

ホルムアルデヒド発散区分

1	商品名	システムキッチン	6	ホルムアルデヒド 発散材料区分詳細	PB	F☆☆☆☆
2	製造企業名	株式会社 ミラタップ			MDF	F☆☆☆☆
3	ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ、下地部分共に F☆☆☆☆			合板	F☆☆☆☆
4	表示ルール	「住宅部品表示 ガイドライン」			接着剤	F☆☆☆☆
5	製造番号および年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認ください。				

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター

受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838

FAX: 0120-382-096

